



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 心血管センター IMCU 戸田百香

【研究責任者】

聖路加国際病院 看護部 戸田百香

心不全・心筋梗塞の治療の経過に入院の曜日が与える 影響の検討

1.研究の対象

2011年1月1日から2024年3月1日までに当院で心不全・心筋梗塞の診断で入院され、当院医療スタッフと治療経過の情報を共有するための診療スケジュール表(以下クリニカルパス)を使用されていた方が対象になります。

2.研究の目的・方法

当院では、心不全・心筋梗塞の診断で入院となった患者さんに対して、標準治療計画としてクリニカルパスを導入しています。クリニカルパスは円滑な診療を進めるものですが、一定の割合でクリニカルパスの逸脱が発生することがあります。逸脱発生要因の一つに、入院日が週末になることで平日に比べ患者さんの診療上の経過や結果が悪化する「週末効果 (Weekend Effect)」が挙げられます。

今回の研究では、心不全・心筋梗塞のクリニカルパスの逸脱に対して「週末効果」が与える影響を明らかにすることを目的としています。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年4月22日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

年齢、性別、入院日時、退院日時、入院日数、入院前の生活状況
入院時の血液検査結果、心エコー結果、今までかかったことのあるご病気
リハビリ状況、入院中に投与された薬 等